

令和5年度事業活動報告

(令和6年5月1日現在)

1 法人の概要

(1) 沿革

- 1985 (昭和 60) 年 4 月 (社) 北葛北部医師会幸手准看護学校開校
幸手市大字下字和田 58-1
- 2011 (平成 23) 年 4 月 (学) 橘心学園幸手准看護学校に変更
- 2012 (平成 24) 年 4 月 1 学年定員を 50 名から 60 名とする。
- 2014 (平成 26) 年 3 月 幸手准看護学校を幸手看護専門学校に改める。
- 2014 (平成 26) 年 4 月 幸手市香日向 4-5-1 に移転し、2 学科制とする。
[
・ 専門課程：看護学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：准看護学科、全日制
- 2017 (平成 29) 年 4 月 看護学科 3 年課程を増設し、3 学科制とし併せて学科名の改称をする。
[
・ 専門課程：第一看護学科 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二看護学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：准看護学科、全日制
- 2020 (令和 2) 年 4 月 3 学科の名称の統一化を図る。
[
・ 専門課程：第一学科 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：第三学科准看護課程、全日制
- 2021 (令和 3) 年 4 月 学生定員の変更
第一学科 40 名を 50 名、第二学科 40 名を 30 名とする。
- 2022 (令和 4) 年 4 月 学生定員の変更
第一学科 50 名を 60 名、第三学科 40 名を 30 名とする。
- 2023 (令和 5) 年 4 月 保健学科 1 年課程を増設し、4 学科制とする。
[
・ 専門課程：保健学科 1 年課程、全日制
・ 専門課程：第一学科看護 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二学科看護 2 年課程、全日制
・ 高等課程：第三学科准看護課程、全日制

(2) 建学の理念

人間形成と確かな知識と技術の修得

社会のニーズに応える人材育成

(3) 教育目標

科学的根拠に基づいた看護の実践、看護の判断力、多職種と連携・協働
良い人間関係を育む

(4) 設置する課程

専門課程：保健学科 全日制 1年課程 1学年定員 30名
専門課程：第一学科 全日制 3年課程 1学年定員 60名
専門課程：第二学科 全日制 2年課程 1学年定員 30名
高等課程：第三学科 全日制 准看護課程 1学年定員 30名

(5) 学生数の状況

専門課程：保健学科

	入学定員	実人員	備考
1年(2回生)	30	30	女子26、男子4

専門課程：第一学科

	入学定員	実人員	備考
1年(8回生)	60	41	女子31、男子10
2年(7回生)	60	54	女子47、男子7
3年(6回生)	60	55	女子47、男子8
計	180	150	女子125、男子25

専門課程：第二学科

	入学定員	実人員	備考
1年(10回生)	30	19	女子15、男子4
2年(9回生)	30	30	女子23、男子7
計	60	49	女子38、男子11

高等課程：第三学科

	入学定員	実人員	備考
1年(40回生)	30	22	女子20、男子2
2年(39回生)	30	23	女子20、男子3
計	60	46	女子40、男子5

合計	330	274	女子229、男子45
----	-----	-----	------------

(6) 役員の概要

定員数 理事 5名 実員数 5名
監事 2名 実員数 2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別
理事長	瀧澤三郎	常勤
常務理事	瀧澤 聡	常勤
理事	高乗正臣	非常勤
理事	米山泰正	非常勤
理事	矢澤將之	非常勤
監事	長岡千晶	非常勤
監事	川村康雄	非常勤

(7) 教職員の概要

校長 1、副校長 1、副校長補佐 2、学科長兼教務主任 3、学科長 1、教務係長 1、第一学科教務 15（常勤 13、非常勤 2）、第二学科教務 6（常勤 5、非常勤 1）、第三学科教務 5（常勤 5）、保健学科教務 5（常勤 4、非常勤 1）、事務 13（常勤 12、非常勤 1）、部外講師（4学科計）137名（医師 29、大学教授 5、准教授 2、助教授 2、元高校教員 3、元小中教員 1、助産師 6、保健師 6、看護師 32、薬剤師 2、臨床検査技師 1、臨床工学技士 1、理学療法士 3、臨床心理士 5、精神保健福祉士 4、放射線技師 1、栄養士 1、管理栄養士 1、その他 27）

2 主な事業概要

本学園の教育理念である「人間形成と確かな知識と技術の修得」のもと、社会のニーズに応えるべく有為な看護職の育成に向け、各科（課）の連絡会議を定期的に行い学生支援業務の円滑化を図るとともに本年度の事業活動の基本方針である「創意工夫による教育活動の推進」、「円滑な組織運営の推進」及び「広報と学生募集活動の推進」の3本柱に基づき、それぞれの主な活動に取り組むことが出来ました。

(1) 創意工夫による教育活動の推進

- ① 学内の Wi-Fi 環境を FreeWi-Fi とし、速く効率良い通信機能を確保し教員と学生の情報共有をさらに強化した。
- ② 遠隔システムを活用して、第二学科においては、ベルギーと結び現地の状況や国の特性について学んだ。

- ③ 常勤教務に ipad を配布し委員会の会議の資料等を Google クラウドで送りペーパーレス化及び円滑化に努めた。
- ④ ハラスメント特別講演会実施
学生や教職員が快適な環境で修学・就業できるよう、外部講師によるハラスメント講演会を4月に行いました。
- ⑤ 学生の成績評価の早期把握に努め、専任教員による個別指導ができ国家試験の合格率を高めることができた。また、第一学科においては准看護師の資格試験も推奨し卒業時は無資格者を無くすことができた。

【保健師国家試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
保健学科	29	29	100%

【看護師国家試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第一学科	47	40	85.1%
第二学科	20	18	90%

【准看護師資格試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第三学科	30	30	100%

- ⑥ 新カリキュラムの導入により、地域と暮らしの授業で地域の小学校及び地域包括支援センター、保健センターなどへの実習を広げることで、より一層地域と連携を深めることができた。

(2) 円滑な組織運営の推進

- ① 教職員の研修時間の確保を図るため、ICT の活用や「NEO」の導入を図り、いつでも研修を受けることができるように配慮した。
- ② 定例会等を通しての教職員連携
連絡調整会議、(1年18回開催)各科教務会及び事務会、各種委員会等定例会を通して情報の共有を図り円滑な学校運営に努めた。
- ③ 保護者会を通しての情報共有
入学式後を活用して保護者会を開催し、保護者等と意見交換を行い教育への理解を図った。
- ④ 適切な課外活動等の実施
校外研修では、科学博物館での見学やミュージカルの鑑賞、ホテルでの

テーブルマナー研修を行い、社会人としてのマナーや見聞を広める事に努めた。

(3) 広報と学生募集活動の推進

- ① 近隣高校を訪問し、進路ガイダンスでの説明や進路指導教員と面談し、広報に努めた。
- ② 学校説明会等を通じて国や県の奨学金制度の積極的な活用を学生に推奨し、昨年度は国や県の奨学金制度の活用者は 136 名となった。
- ③ 社会人向けに AO 入試や社会人入試枠を設け、社会人学生の増を図った。
- ④ 進学先を探している高校生・社会人に向けた進学ポータルサイトへの掲載を行った。また、ホームページの更新をこまめに行い本校の教育活動状況の周知に努めた。
- ⑤ JR 東鷲宮駅の他に最寄り駅から学生の通学用として東武線幸手駅からのスクールバスの運行を始めた。
- ⑥ 近隣高校と連携し、指定校の拡充とインターンシップ校として 1 校増の 2 校受入れを図った。

3 施設等の状況

所在地	施設等	面積	構造、階	摘要
幸手市香日向 4-5-1	校舎	4,478.1 m ² 1 階 833.19 m ² 2 階 1401.41 m ² 3 階 1097.74 m ² 4 階 1097.74 m ² 塔階 48.02 m ²	鉄筋コンクリート 4 階 建の一部	幸手市より借用 年額 2,476,462 円
	校地	6,221 m ² うち校舎敷地 3,237 m ²		幸手市より借用 (上記校舎借用に含む)
	駐車場	来客者用 310.5 m ²		幸手市より借用 年額 277,044 円
幸手市下川崎 152 番～154 番 2	駐車場	学生用 2,689 m ²		細井勇様より借用 年額 630,000 円
幸手市千塚 1409 先	駐車場	職員用 1,875 m ²		関根俊男様、関根次郎 様より借用 年額 816,000 円